

謹賀新年

皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は数多くの台風が発生し、全国各所に災害をもたらしました。当地では、大きな災害もなく「大山さん」のおかげ、本当にありがたいことと思います。

国では「地方創生」「一億総活躍社会」等施策が進んでいます。

本町は昨年合併10周年を迎え、この間「大山の恵みを受け継ぎ、元気な未来を拓くまちづくり」を基本理念に諸事業を実施してきました。その中でも、少子化・定住対策、産業振興、健康対策、町民参画の四項目を重点テーマとし、保育料無償化事業（第3子から2才児以降対象）、移住交流サテライトセンターによる空き家への定住促進、地域自主組織や大山未来会議、

地域おこし協力隊などによる様々な活動・催事、アグリマイスターによる担い手育成、カーブスやアマゾンラテルナ等民間力による健康づくりや地域情報発信事業などを展開しています。

さて、本年は新たに策定される第2次総合計画（大山町未来づくり10年プラン）に基づき、「大山町しごと・ひと・くらし創生総合戦略」を進めて、人口減少をゆるやかなものとし、地域活性を図ります。

その中でも、切れ目のない子育て支援として、「すくすくおやこステーション」の充実、鳥取大学など産学官連携の「まったなし健康づくり」の推進、若者定住へパッケージ化した支援や分譲宅地の取り組み、企業誘致や再生可能エネルギーの推進、また、女性活躍の場づくりや農業担い手・起業化人材の育成にも力

を入れてまいります。

さらに、海拔0mから大山1,729m（剣ヶ峰）のわが町の資源・魅力をまるごと体験し、スローな時間・空間を提供し、ビジネス化につなげる「大山エコトラック事業」への取り組みにより、観光業・農林水産業をはじめとする町内産業が連携することで「地域で儲ける仕組みづくり」を推進します。

平成30年、大山寺が創建1300年を迎えることを契機に、大山の自然と人が織りなす歴史や文化を掘り起こし、広域的なこの地域の魅力を国内外へ発信して地域活性



大山町長
森田 増 範

へつなげる「伯耆国大山開山1300年祭」をすすめると共に、大山エリアの日本遺産認定と大山寺僧坊跡の国史跡指定を目指します。また防災無線のデジタル化や中学校大規模改修を実施します。

今後も「大山の恵み」を活かしながら、町民自らの活動展開を推進し、笑顔あふれる元気な大山町をめざして、取り組みを進めます。皆様の一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

町民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。